

医療・健康福祉市民フォーラム

人生の終わりに向け 自分らしくどう生きるか

団塊の世代の皆さんが全て 75 歳以上となる 2025 年を見据え、当市においては医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう地域包括ケアシステムを推進しており、市民の皆様に広く理解をしていただくための取組を行っているところです。

今後は、全国的な動向と同様に当市においても、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が更に増加し、認知症や血管疾患などにより、医療や介護が必要になる人が増加すると見込まれています。

人生の終末を「どのように生きたいか」「最期を自分らしく生きるために、こうありたい」など自分のこととして考える機会にしてみませんか？

2018 **10/27** (土)
13:30～16:30 受付 13:00～
新潟県立看護大学 第 1・2 ホール

・会場案内・

上越市新南町240

(無料駐車場あります)

県立中央病院隣り



基調講演 13:40～14:40

「人生の終わりに向け
自分らしくどう生きるか」

講師 / 石飛 幸三 氏

世田谷区立特別養護老人ホーム
芦花ホーム常勤医

1935 年広島県出身。慶応義塾大学
医学部卒業後、同大学外科学教室
に入局。ドイツのフェルディナント
ザウアーブルッフ記念病院、東京都済生会中央病院で血管外
科医として勤務した。2005 年 12 月より現職。著書に『「平
穏死」のすすめ 口から食べられなくなったらどうします
か?』(講談社)、『こうして死ねたら悔いはない』(幻冬舎ル
ネッサンス) など。近著に『「平穏死」を受け入れるレッスン』
(誠文堂新光社) がある。



パネルディスカッション 14:50～16:30

「上越市における看取りの
現状と今後のケア体制づくり」

<パネリスト>

- 古賀 昭夫 氏
(上越地域医療センター病院院長)
- 石田 浩二 氏
(特別養護老人ホームよねやまの里施設長)
- 横田 麻里子 氏
(上越地域居宅介護支援事業推進協議会会長)

<コーディネーター>

小野 幸子 (新潟県立看護大学教授)

お申込み・お問い合わせは **新潟県立看護大学 看護研究交流センター**

TEL/FAX ▶ **025-526-2822** (平日 9:30～16:00) Mail ▶ nirin@niigata-cn.ac.jp

参加費無料/要申込(定員 250 名) 受付期間 **9/11～10/19**

主催 医療・健康福祉市民フォーラム実行委員会

共催 上越市、新潟県立看護大学、上越地域医療センター病院

後援 上越医師会、新潟県上越地域振興局、新潟県立中央病院、新潟労災病院、
上越総合病院、上越市社会福祉協議会、新潟日報社、上越タイムス社

電話、FAX
または
メールで、

名前・電話番号を
お伝えください。